

発言No.

17

受付No.

令和 5 年 2 月 15 日
9 時 4 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 7 番

氏名 村武 まゆみ

答弁を求める者

(○をつける)

員長

市長 (教育長) 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委

発言項目及び要旨

1. 女性のヘルスケアについて

昨年発行の議会だよりのアンケートで、市内の女性から市内の産婦人科を増やしてくださいという切実な願いがあった。現在、浜田市において産婦人科の診療ができるのは浜田医療センターか個人病院が1件だけの対応となっている。アンケートに書かれている様に、産婦人科は妊産婦だけではなく、婦人科系の疾患や更年期、若い方のホルモン治療など10代から高齢者まで利用する大事な診療科である。以前からこのことについては市としても大きな課題と感じて産婦人科医師の確保にも努力をされている。しかしアンケートをくださった女性だけでなく、浜田市に住む多くの女性からもご意見をいただいている状況である。

(1) 医療体制について

- ① 浜田市の産婦人科医の確保に向けての現状について伺う。
- ② 浜田市の女性で産婦人科の受診を希望する方の状況把握について伺う。

(2) 相談体制について

- ① 昨年の12月の福祉環境委員会所管事務調査の報告では、浜田市で行っている健康相談で妊産婦相談以外の産婦人科系の女性の健康相談は0件だった。産婦人科の疾患で悩んでおられる方が多い中、相談が少ないということに対してどの様に捉えているか伺う。
- ② 学校における相談体制について伺う。

(3) 推進活動について

- ① 厚生労働省では3月1日から8日まで女性の健康週間となっている。特にその時期は推進活動をしていると思うが、日頃の活動も大切である。どの様な推進・啓発活動をしている

か伺う。

2. 幼児教育について

R5年4月より、浜田市立浜田幼稚園が開園、浜田市幼児教育センターが始まる。浜田市の子ども達の健やかな成長のために、魅力ある幼稚園づくりとしっかりとした幼児教育センターの体制をつくる必要がある。スタートする公立幼稚園の基本方針の中に、公立幼稚園の存在意義と特に果たすべき役割がある。それを基に以下の質問をする。

(1) 浜田市立浜田幼稚園について

- ① 存在意義として「市が直接運営する施設のため、市が抱える幼児教育の課題に対して、直接的かつ機動的なアプローチが可能」とあるが、市が抱える幼児教育の課題を具体的にどう捉えているのか伺う。
- ② 「公立と私立の幼児教育施設が連携することが保育・教育の質の向上につながる」とあるが、どの様に公立と私立の幼児教育施設が連携するのか伺う。
- ③ 「民間の幼児教育施設では対応が困難な課題にも対応可能」とあるが、具体的にどんな課題に対応可能なのか伺う。
- ④ 現在の浜田幼稚園の入園申し込み状況について伺う。

(2) 浜田市幼児教育センターについて

- ① 設置目的として「公私や施設種類の枠を超え、0歳から質の高い保育・教育を提供するため、市内幼児教育力向上の拠点」とあるが、質の高い保育・教育についての考えを伺う。
- ② 事業内容に幼児教育アドバイザーの派遣による園内研修型訪問支援とあるが、市内の全幼児教育施設に派遣するのか伺う。
- ③ 保育従事者への研修の実施とあるが、どのような研修を考えているのか伺う。

(3) 幼児通級教室について

- ① 幼児通級教室の事業内容について伺う。